

学年だより 迷ったら険しい道を！

2019, 10, 31
石川県立小松明峰高等学校
第3学年発行 No. 14

慌てず逃げず、全力でいこう！

～Constant dropping wears the stone～

点滴石をもうがっ = 微力でも根気よくやれば成功する

*壁を越える

10月は、校外模試や定期考査と試験が続きました。結果が思い通りにならずに焦っている人も少なからずいるように思います。今は辛抱のときです。よそ見をしないで、自分のすべきことに集中してください。よそ見をしているとスピードダウンしてしまいます。

ところで、「赤の女王仮説」を知っていますか。赤の女王というのはルイス・キャロルの小説「鏡の国のアリス」の作中に登場する人物です。彼女はアリスに対して「いいかい。ここでは力の限り走らなきゃいかんのだよ、同じ場所に留まるためにはね。もし他のところへ行きたいのなら、その2倍の速さで走らなくてはならんのだ」と語ります。この台詞が、ある生物種を取りまく生物的環境は、その環境の構成に加わる他種の進化的変化などによって平均的に絶えず悪化しており、したがってその種も持続的に進化していなければ絶滅に至る、という生物学の進化論で使われる「赤の女王の仮説」となったのです。

受験期の苦しい時期を迎えている今の皆さんに似ていますね。ある科目で好成绩をとって安心して立ち止まってしまうと、いつの間にか世の中の受験生は変化・進化していて、同じ場所にとどまっていたつもりが実は大きく後退してしまっているという状況に追い込まれるのです。今の成績を維持したいならば、常に走り続けなくてはならない。今の状況をもっとよくしたいならば、2倍の速さで走らなくてはならない、ということを示唆しているように思えます。

一方で、壁にぶつかって立ち止まってしまう人もいることでしょう。困難に直面したときこそ、その人の人間性が見えてきますね。でも、この時期だけは、立ち止まらず、もちろん退くこともなく、壁を乗り越えていきましょう。目の前の困難を避けてしまったら、将来必ずやって来る第二、第三の壁は越えられないし、成長もありえません。受験期で壁を乗り越えるとは、思索をやめないことです。知恵を絞り、先達にヒントをもらい、暗中模索を続けていくということです。ポジティブな考えでいくと、困難を経験するということは、必ずしも悪いことではありません。むしろ自分を大きくするチャンスだと喜ぶべきことなのです。壁を感じても、とにかく走り続けましょう。走り続けるとは考え続けるということです。赤の女王の言葉に従って走り続けましょう。そして、生物学の仮説通り進化していきましょう。

センターまで113日

11月

日	曜	日 程	行事
1	金	B	
2	土	B	学校公開日
3	日		進駿マーク模試
4	月		振替休日
5	火	B	
6	水	B	
7	木	A	新人大会後期
8	金	A	新人大会後期
9	土		
10	日		
11	月		代休 (11/2)
12	火	A	学年末考査 1
13	水	A	学年末考査 2
14	木	A	学年末考査 3
15	金	A	学年末考査 4
16	土		
17	日		
18	月	A	特別時間割開始
19	火	A	
20	水	A	
21	木	A	学習時間調査 (～24)
22	金	A	
23	土		全統プレテスト
24	日		
25	月	A	
26	火	A	
27	水	A	
28	木	A	保護者懇談 (～12/3)
29	金	A	
30	土		